災害概要

日 時令和3年2月21日(日)

15時36分

場 所 栃木県足利市西宮町

延焼面積 167ha

鎮 圧 令和3年2月28日(日)

鎮 火 令和3年3月15日(月)

消防本部 足利消防本部 (175名)





応援状況 (航空・陸上)

【航空部隊】

2月22日(月)

県防災ヘリ2機(茨城・埼玉)自衛隊ヘリ4機

23日(火)以降 最大7機体制

【陸上部隊】

2月24日(水)県内応援(11)県外応援(4)

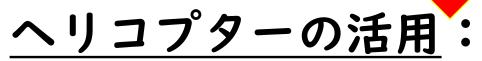
25日(木) 活動開始

【指揮支援隊】

2月25日(木) I2時30分 足利市から要請

消防の広域応援制度

市町村境界周辺: 栃木県内・群馬県一部 消防相互応援協定(組織法第39条)



大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱(組織法第44条)

全国の消防機関相互による援助体制:

緊急消防援助隊(組織法第45条)

出場前確認事項

- ① 災害の状況(わかる範囲)
- ② 活動状況(消防(陸・空)・自衛隊)
- ③ 集結場所の把握(経路・時間)
- ④ 地元消防本部の職員数・車両・消防長
- ⑤ 後方支援体制
- ⑥ 消防現勢(地図・栃木県・群馬県)

【指揮支援隊到着】

| 6時00分 関係機関顔合わせ

|6時|3分

さいこうふれあいセンター到着





【指揮支援隊到着】

足利副市長からの活動の報告

【活動状況の把握】

- 〇3大危険(人命危険・延焼拡大危険・活動危険)
- 〇災害の進展予測(消防力の優劣)

(緊急消防援助隊の応援要請・今の活動プラン)

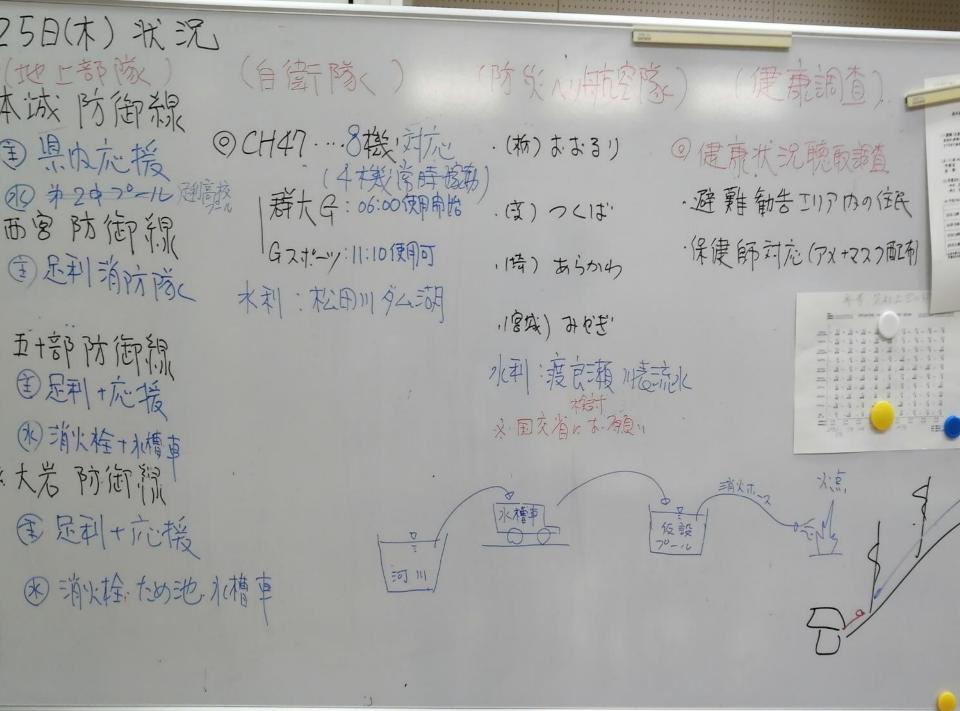
- 〇天候(これからの予測・特に風)
- 〇水利(ため池・消火栓)
- 〇優先すべき活動エリア (学校など人命危険)
- 〇背負子・可搬ポンプ・水槽(活動資機材)
- 〇部隊移動の容易さ(時間・傾斜)〇日の出・日没時刻
- 〇自衛隊へリ活動状況の調整
- 〇へリ(赤外線)熱源確認

〇安全管理

【指揮支援隊到着】

指揮支援隊としての活動方針

- ◎関係機関調整会議 開催の進言
 - ①情報の共有化(市・地元・自衛隊)
 - →活動状況・活動プラン
 - ②ホワイトボードによる「見える化」
 - →地図・活動状況(時系列)
 - ③指揮系統の明確化(応援のスキーム)
 - →消防機関の意思決定(陸・ヘリ)



【指揮支援隊到着】

地図による情報共有



地図

- ①へリの活動エリア
- ②陸上部隊の活動エリア
- ③火点の状況(火の粉程度・延焼中)
- ④水利の状況(消火栓・無限水利)



地図に落とし込み、全体像を見える化

西宮町林野火災。現園 C へり 活動質 500 经 经成分股 月谷町 **北田東日町平30** 火点 3 水利 避難動告対象区域 CHAI ⑥2月25日午前7時30分 30世帯追加 (大岩町自治会館周辺) 避難勧告対象区域 江劃到 避難勧告対象区域 ③2月23日午後8時 月24日午後2時 實電山 25世帯追加 (五十部町北東部のゴルフ練習場付近) 18世帯追加 (本城地区内本城瑙以北) (隣接する大岩町の一部) ウィンザーゴルブ足利 天狗山 而進山 五十部町 御岳神社 過難勧告対象区域 2月24日午後1時 西宫识 80世帯追加 (本城一丁目地内足利真校西側) 現場指揮本部 足利高等学校 西宮町 三量小学科 西溪圈 第一中学校 避難勧告対象区域 6 ①2月23日午後3時 40世帯 (西宮町内) 足利市総合運動場 ②2月23日午後5時 14世帯追加 (西宮町内) 織姫公即 枥木県機種工業試験場 現場対策本部

【指揮支援隊到着】

活動状況の情報共有

(い つ:時 系 列)

(どこで:活動エリア)

(だれが:指揮者(消防本部名)

(どのような:活動内容・活動見込み・困難性)

確認項目

- ① 延焼状況 (火の長さ)
- ② 水利の状況・放水口数
- ③ 活動位置 (エリア)
- ④ 応援要請の要否
- ⑤ ヘリ消火の要否
- ⑥ 残火活動終了見込時間(活動の要否)

2/27 消防活動状况(AM)

確認する項目の本城

| 延焼状況(火の長さ) 地面で振ると教がかから火里

2.水利の状况,活動放水口数 消火栓に部署したタンク車から現場まで ホースがのなでいる。 スロナジッドューター生

3.活動している位置 6E4

4.応援要請の要否

確認する項目②今福

1.延焼状況 (火の長さ) ** 鉄石状態

2.水利の状况,活動放水口数 粉栓,10 粉消火栓,20

3.活動している位置 # 9BZ #8BZ

4. 応援要請の要否 不要

確認する項目分林道

·延焼状況(火の長さ) 月冷地区 自大至の升 鎮大杖龍

2.水利的状况,活動放水口数 ラモナトンマーター8基十分のホスノロ校水

3. 活動している位置 6E1 4近

4. 応援要請の要否

杏小杏

確認する項目の田宮

1.延焼状況(火の長さ) 延焼なし、白煙あり

2.水利の状况,活動放水口数 消火栓.1口

3.活動している位置

4.応援要請の要否 不要

確認する項目

③ 日光 南那風 大岩 1.延焼状況(火の長さ)

白煙の計 3水5元 12:00 白煙視報できず

2.水利の状况,活動放水口数 デュットランター×7

3.活動している位置 6C4 小天狗山南约300m

4. 応援要請の要否 ·水利 + で 往復 / 時间 半

の方面作野り山口目 一.延焼状況(火の長さ) 点在 移残火(的埋み)处理中

2.水利の状况,活動放水口数 N山P 消火柱部署、1口放水(中止中) 3.活動している位置

4. 応援要請の要否 要なし

つり散水中のため 1250 おで 待機 つり要否はつでこディング

消防部隊の管理 (2/26)

本土水

(2)

6E3.4 エリア 7E1.2

神社まで50mm位置 延坡 在 完全 150m の 位 書

上言では変数をした。 部隊 宇都宮 1台 5名 石橋 1台4名

隊長 090-3>47(豬智)

> 090-キタムラ (石橋)

8B3

8B3付近100m 延城中

夜间警戒実施 部隊 塩谷1台4名 那須十台4名

隊長 090-カミナ<u>か(塩谷)</u> 070-(那%) ③ 大岩

エリア 7C3,7B2

土户原色的小部 火煙はない

部隊 日光 1台4名 南那須 1台4名

隊長 090 カワツ(日光) 一林道

IJ7 503

延捷 熱性小小淋漓 火煙ない

|部隊||芳賀||台5名 鹿沼 1台4名

隊長 090. こ~() () () () 090-力不多(展活)

10:25 芳賀 現着 南西の山井から田事 E6中中门近 チョーワ消料室。 联火处理 克莱里丁科东 強

13:40. 5D3付近の火点を 石を記へむかう

14:22 現在ませから602方向

白水里不宜起

513 シェックシュータ

北上では大中

602 34FA CTIF 745

到表方質之个流

11:20. 日光,南即领, 立木|本 |4:10. 5 D3 a 火点,位下草(水) シェートシューターで対応可肯を 焼きている。ホースは長着井. 林塘之近升6C2.1定 これより海火する で同じ A延焼はなし、 石宮認に行く.

11:29 日光 立木 消火中 底沉 维林 国上在记中

優勢 12:10 鉢綠涛, 闭焰 ななべてす

241 6C付近、3 箇所以急間提出53度即甲板共区内 一一 ① 立方本《根、对方中

国际被护中 14:42 底话 图林進士包含人較好地

日西宫

IJP 8-B-4

连续 熟起,2034能 ツ煙ない

部隊 栃木 1台络

隊長 080-イシヤク

> 花木 现着 ・スナサールに入山し、東域大変を 確認33年

11:15、デントンの一ター4基で対応中、 火炬的人残火鬼理中

11:28、スナダムの西側に生理記。 呈利河南灰IDmit 21程度 にで対心中。

11:40 スナガム南尾機知道面 はこかり随記シューターマイサイ 对心主杨本杨

1210 日本はなったスでは水関係 TEU (30), 722 X 2176500 /000.

12:30 星利度30m本スを掲す屋と文学指示 相木小孩后·梅園買文管。為大山

13=10 杨木茂 放水開西了0--- 大-スにと 13:40 国际之对应可能

ことットは2-9-7"出場16-00 病院度性 Jount-2/報子新火中 /两荷兰地流和线。到19年晚 16:20 BS-4. Charant 155 \$ 14

16:00 度温50350年、外海橋本で ジュトニューラー使用 19:30 5/33 伊大如松九路 16:35 新城市,88-45四本公司中

10:34 中間流標 現着 人鬼&z"ISOm 10:45 10:59 106 神社西伯近 台姓太祖田、李德和 八)要指

ジェッドニーターで対応可能 D6 付近けへり消火が必要

13:39 人家打福地在位置新面 に向かってし数な所([+*110) 点在 ジェットューダーで大大中

下草所でいるとなってかり ショントニューターでおかり

15:00 人大杨,中都常北桥内 200m程之分: 入1),下草()AX2m) · 数·高户杰在、石档、宇都管依 わし、木ースなびジェットシュター 支使用し消火近季中、 16:56、4又-7数米のため、年間を下山

· [0:30 塩谷, 即須 現著. 山内中限上白灯里,入山して. 处增强图4確認13。

10:51 立木 (直径 mx 体)燃化 ジェットシューターフッドは中

12:50 消防人生13消火中食 50×50 白煙 じょっトショターで消炉

13:29 足剌丁→塩谷TK入營 15:09 塩台、8月34エリアの活動級3。 更た BB2付近の問題研門内面)。

15:50 塩谷 州道 8月で名前。 ホース 10,25~12:00-0-37地 100mでで延延中1983が商品に採入

16:10 上記拍当面,白煙の上界,所以及理視認 地上隊進入初日場所はないか 新たにホースライン海定の要あり 17:06 八番水のちめ下山閉地 /7:28下山

ら水体が、変がこすっているの所が水 16:00 日本 伊智时 南河南岛流江西约1725下西 15:55 16:04 16:42

14.20 14:25 14:55

7:4:

延焼

部隊

隊長

10:30

0:50

11:00

11:05

11:20

11:25

11:36

11:41

12:30

13:05

13:35

13:50

活動方針

指揮系統の明確化

NOFT 代表消防本部 助言、指揮支援部 隊 足利市長 ☆京村除京東 宇都官消防 足利市消防長 県外応援 具内応援 部隊状况 (県内) | 1隊53名 3台9名 字都宫 090 ヨシムラ 0 · 11.41 1 64名 090 ウスイ 1 台5名 0 ·杨木 イシカワ 080 60 サイトウ 1台6名 · 作野 080 1 台4名 090 ·石橋 @ 芳賀 1台络 090 ニヘイ 台络图 090 p79" 展沿 - 塩谷 090-カミナカ 日光 090-·南那須 1台4名 @ · 那須 1 448 @ 070-3隊5/名 (県外) ·和同生 - 台-名-·伊勢崎 4台(格一 2台13名一一文哲型員/2名 延3名 太田宇特殊(のなり) ·太田 3台(2名- 冲版(18:10) 一胞林

水学和智 資點末 3/26~ さいこう3.4 原在車寸 (カギはず

足材心有药 ていこうけんあい

ないるがなりてソン HB 航空指挥支援隊 · 施木防灾化 福島防災 的经际长 现件指挥等 **応接航空隊**了 総務者リエソ"ン 東京东京城市 桥桐消防放城隊

正田様 → 澤田 灯碗泥 お研いれるて ちつかれてきでける。 大変ルラダーです あっかいとうごすいます

0700-0800 栃木県知事を搭乗せ貨票フライト(栃木ハリ)

※フライト後点核

26日(金)

HB垂終先 TEL 028-FAX 028-陇長擔拳 090-満折りエゾン 澤田

· 070 -

指挥支援隊隊 山田 070 -

足利市消防本部

指揮命令

県内外応援隊

緊急消防援助隊

指揮命令

県内応援隊(II本部)

宇都宮市消防局(代表消防本部) 小山市消防本部 栃木市消防本部 石橋地区消防組合消防本部 芳賀地区広域行政事務組合消防本部 塩谷広域行政組合消防本部 日光市消防本部 南那須地区広域行政事務組合消防本部 朝那須地区広域行政事務組合消防本部

県外応援隊(4本部)

桐生市消防本部(途中引き上げ) 伊勢崎市消防本部 大田市消防本部 館林地区消防組合消防本部

指揮支援部隊

統括指揮支援隊(東京)

指揮支援隊 ※

指揮支援部隊長

指揮支援隊長

県庁等で指揮支援を実施

航空指揮支援隊

航空指揮支援隊長

※ 本災害での運用なし。

航空部隊

航空小隊(東京含む)

· · 航空後方支援小隊 ※

関係機関調整会議









2/28

消防活動予定

統括指揮支援隊 (東京消*防庁)*

2/27 2/28 夜间警戒活動(足利消防)

6:30 日の出が随時活動用始(6エリア)

⑤県内応援増員(50→/00) (活動方針) 県外加え/50名規模

- ①各エリアの徹底した残火処理(ジャンタ・スコップ)
- ② 急傾斜を踏まえた安全管理

》(活動服)

編み上げ、 ひらりがある消防本部は活用を考慮

17:30 活動終了

604から



2月26日 防災(V)活動予定

一担当クジャー図 松体 6 E (秩琦) 8:05 8D2.4(F) 1:25

8 B⇒煙弱くなっている 顶 成

12:55 88 3 13:35

15:35 5D3 (車磺) 6C2 8B (淡琦) "灰城"

⑦織姬公園 延焼状况

部隊 足利 | 台5名 太田之创3名十12名 隊長 リゴウ 090-

12:05 现着入山

太田丁15、13名人山 及利1名小山 12:50 足利から 3名人山 13:00ほの大きり 12:30 交代 太田 12 名

ジュナンューターにて1月東洋動中

8:00

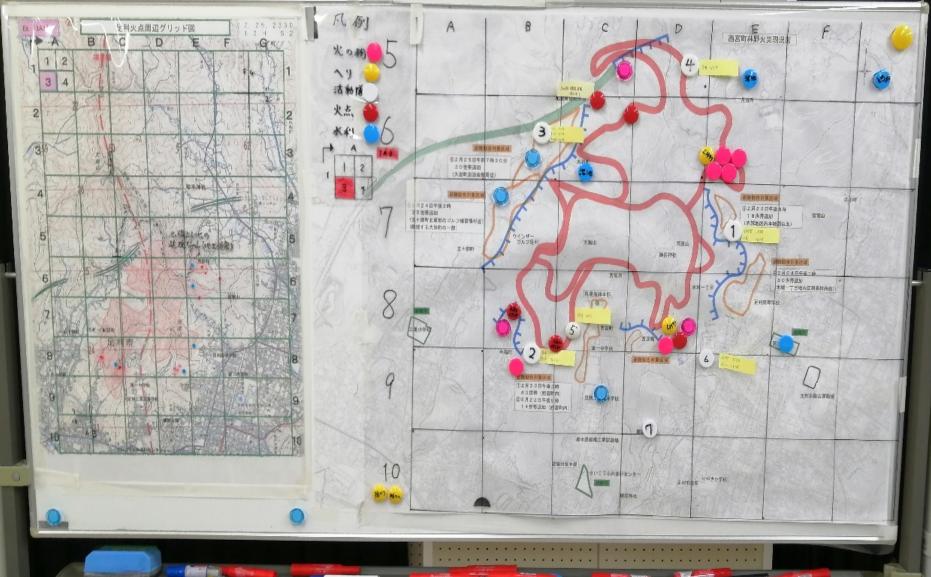
FAX 隊長

游

活動方針

グリッドマップによる 共通の活動言語化 総合状況図

.



to annual

.

0 5

活動方針

【自衛隊】

4 ブラボー 2 熱源確認しました!

消防隊はアプローチ可能か?

【指揮支援隊】

近くまで来ていますが、自衛隊さんの散 水をお願いします!

【自衛隊】

了解しました。 〇時〇分散水します。

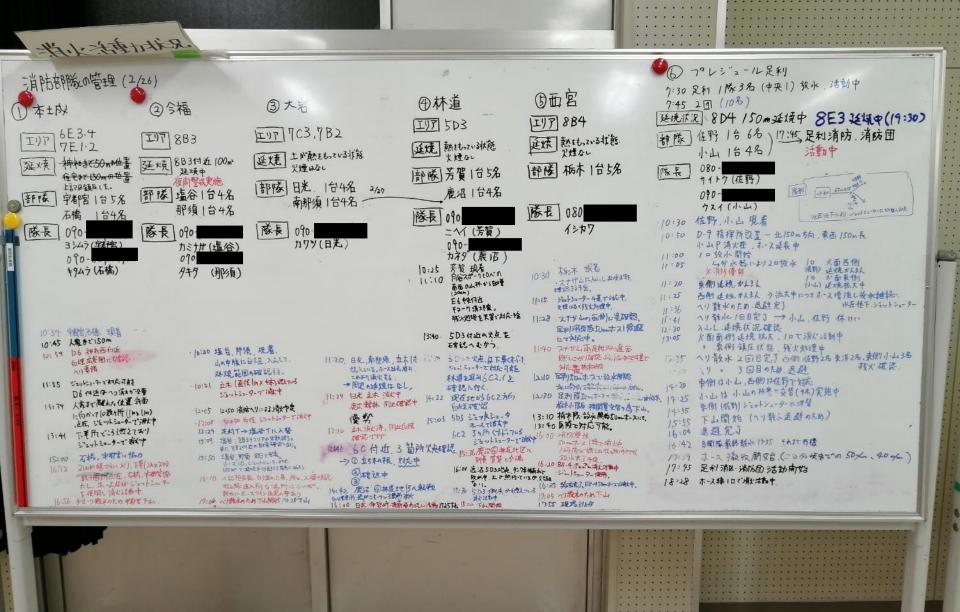
B (ブラボー)

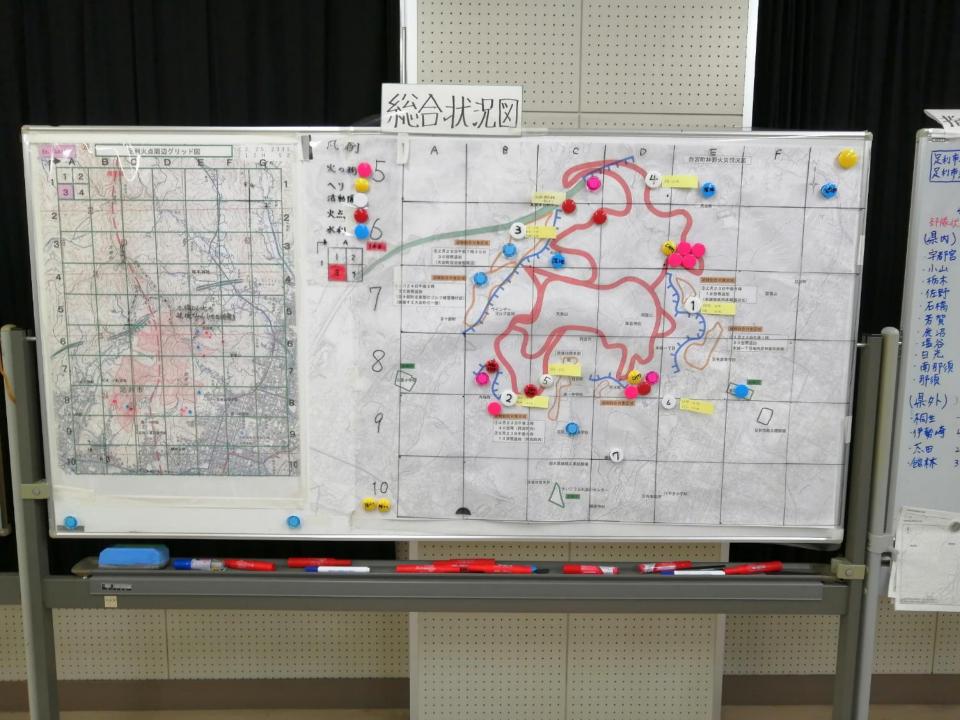
```
3
```

A:アルファ C:チャーリー

D:デルタ E:エコー









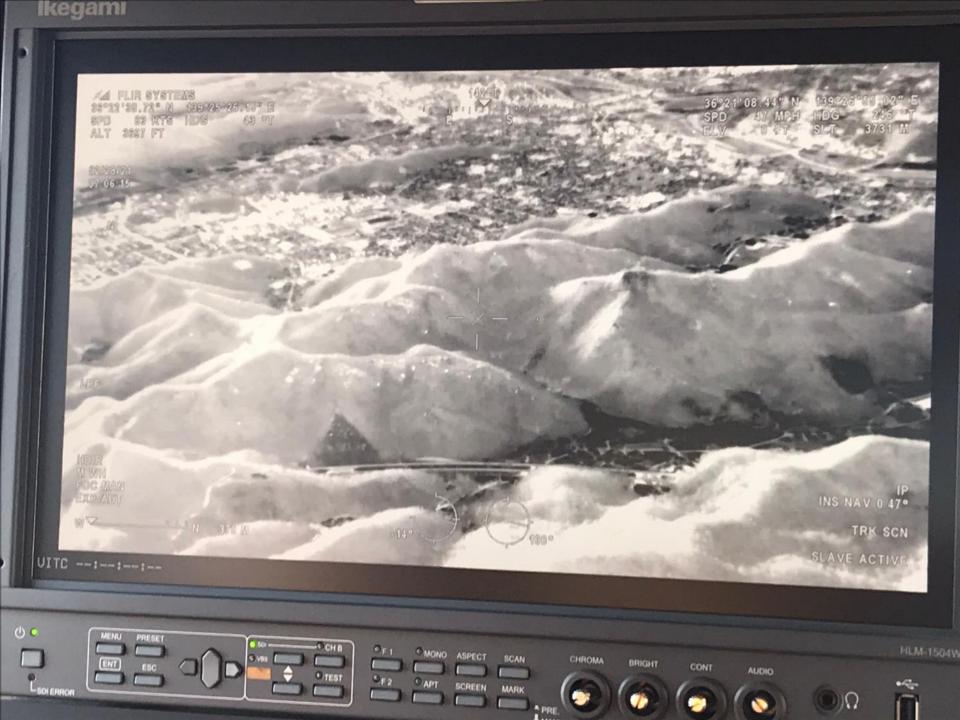














課題

- ① 安全管理体制(落石・落木・急峻・退路・夜間)→ 安全管理担当の配置
- ② 山林火災活動時の活動服(夏季・急峻)→ 防火衣・長靴の必要性
- ③ 交代要員・後方支援(人員の増強・消防団の活用)→ 広範囲の活動・地域特性・食料
- ④ 車両 (普通ポンプ車・水槽車・スーパーポンパー) → 必要車両の判断

2/28 消防活動終了時の状況

鎮圧

確認する項目報的

- 1.延焼状況(火の長さ)7年と8日
- 2.水利の状况 活動放水口数 公外2-9-
- 3.活動している位置 7E1.8E1
- 4.応援专請の要否

地上的特别体料了

5. 个了消火 介書在 TEIL PEI APTION系数长 陈星唯入不可 6. 残火治動終了是此時間

鎮圧

●確認する項目②/S被

- 1.延焼状况(火の長さ)
- 2.水利的状况,活動放水口数 流片。- 另一,羽腰北部水棚
- 4. 応援要請の要否
- 5,个9消火 9要否

鎮圧

確認する項目団大名

- 1.延焼状況(火の長さ)
- なし 2.水利の状況,活動放水口数
- ジュトシ・ター3.活動している位置
- 6C1~4 4.応援要請の要否
- き、ヘリ消火の要否.
- 6. 残火活動終了是达時間 明日以降七本民·為. 至

鎮圧

一定 把 寸子項目整件

- 1. 延焼状況 (火の長さ) なし 50.5E.60.6E影響
- 2.水利の状况,活動放水口数 保料,汽小沙-9一
- 3.活動している位置 6E
- 4.応援要請の要否
- ち、へり消火の京丕
- 5、ヘリ洲人の安全
- 6、程史活動終了見込時間 終日

鎮圧

確認する項目の西宮

- 1.延烷状况(火の長さ) 鎮压状態
- 2.水利的技况,活動放水D数 消火拴, 这个3~9~
- 3.活動している位置
- ◆ A 元援要請の要否
- 十. 代後を謂の安合
- ち、ヘリ消火の要否、
- 6. 程火活動終了 見込時間(auxil) 外子

鎮圧

- 確認する項目の
 - 延烷状况(火の長さ) 鎮圧状態
- 2.水利的状况,活動放水口数
- 3. 活動している位置 低野 9EI原名神経数他かに補股 小山 8E12付近転数(ルペリ) 4.応援要請の要否
- 五年 ちょくり消火の夢在
- 6. 残火活動終了是处時間 有度 残火罐证 n要 あり





西宮町林野火災。現 C へり 活動質 500 经 经成分股 月谷町 **北田東日町平30** 火点 3 水利 避難動告対象区域 CHAI ⑥2月25日午前7時30分 30世帯追加 (大岩町自治会館周辺) 避難勧告対象区域 江劃到 避難勧告対象区域 ③2月23日午後8時 月24日午後2時 實電山 25世帯追加 (五十部町北東部のゴルフ練習場付近) 18世帯追加 (本城地区内本城瑙以北) (隣接する大岩町の一部) ウィンザーゴルブ足利 天狗山 而進山 五十部町 御岳神社 過難勧告対象区域 2月24日午後1時 西宫识 80世帯追加 (本城一丁目地内足利真校西側) 現場指揮本部 足利高等学校 西宮町 三量小学科 西溪圈 第一中学校 避難勧告対象区域 6 ①2月23日午後3時 40世帯 (西宮町内) 足利市総合運動場 ②2月23日午後5時 14世帯追加 (西宮町内) 織姫公即 枥木県機種工業試験場 現場対策本部

【消火活動の原則】

消火活動は、火災状況と消防力の比較により

- 一挙鎮圧及び延焼拡大阻止を主眼とした活動を行う。
 - 〇 建物への延焼阻止を優先
 - 〇 林野火災に適した装備を使用
 - 〇 自己の退路を必ず確保する(2方向)
 - 〇 消火可能な方向から着手する
 - 〇 原則として日の出から日没までとし、日没までに下山
 - 〇 ホース延長する場合、焼損防止のため注水



【指揮活動の原則】

林野火災は、活動が広範囲に及ぶことから、指揮本部長は、 各局面の状況を把握し、一元的な指揮体制を確立して 活動部隊の安全管理を確保する。

- 〇 災害実態に応じて、各局面における指揮者を指定
- 連絡体制を確保し、各部隊が孤立しないようにする
- 〇 隊員の疲労状況を把握し、活動隊員を後退させる
- 〇 消防団と連携が重要であり、積極的に連携する。
- 〇 へり隊との常に連携を図り、延焼状況、活動を把握



【部隊配備の原則】

- 〇 中隊(小隊2隊)又はおおむね8名単位とし(団含む)
- 〇 民家への延焼阻止を最優先
- 〇 主延焼方向の側面とする
- 目的、任務及び担当範囲を具体的に指示、安全確保 に配意して配備
- 〇 へりの任務は、具体的に指揮本部長が指定

【関係機関との連携】

(市町村)

- 〇入山者に対する火災発生の呼びかけ・避難誘導依頼
- 〇長時間活動に備え、支援物資の依頼
- (山林関係機関)
 - 〇 山相、林相、火災現場までの入山ルート等必要な情報 を収集(道案内含む。)
 - 〇 延焼阻止線の設定の協議
 - 〇 山林関係機関の保有する資機材の調達
- (他機関のヘリ)

他都市のヘリや自衛隊へリ東京消防庁 TOKYO FIRE DEPARTMENT